

時限表

テーマ	小規模事業者に寄り添う助言の手法
研修のねらい	小規模事業者の伴走型支援を進めるためには、経営者からの信頼を得た良好な関係のもと、有効な支援を進めていくことが必要となります。 本研修では、適切な支援に必要な情報や経営者の本音を引き出すために必要となる「傾聴」と「質問」のスキルを磨き、伴走型支援を効果的に進めるための支援手法について学びます。
受講対象者	伴走型支援に取り組む支援担当者等
研修期間	令和6年6月26日(水)～6月28日(金) (3日間、21時間)
募集人員	25名
受講料	23,000円(税込み)

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
6/26 (水)	9:20～9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30～12:30 (3.0H)	事業者からの信頼を得られる経営指導員の条件 <理論政策>※	支援企業からの信頼と成果を高めるために、経営指導員に求められる役割とその資質・能力について、グループ議論を交えて考察します。 ・事業者からの信頼を高めるために必要とされる経営指導員の役割と資質・能力 ・成果の高い経営指導員像と現状とのギャップの確認・課題設定(グループ討議)	
	13:30～17:30 (4.0H)	事業者との信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルの習得 <理論政策>※	信頼関係構築のために必要となる事業者の本音を引き出す傾聴・質問スキルについて、演習を交えて学びます。 ・コミュニケーションの重要性 ・伴走型支援に役立つ相談対応力(傾聴スキルと質問スキル) ・傾聴・質問のロールプレイング①(演習) ・ケース演習(相談対応の実践)	
	18:00～	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
6/27 (木)	9:00～12:30 (3.5H)	相談対応の手順と心構え	伴走型相談対応の手順、および相談内容の体系的な整理の際に有効な思考法やスキルについて学びます。 ・伴走型相談対応の手順と心構え ・支援企業の現状・問題を的確に捉え、整理するためのスキル -なぜなぜ思考で考える -仮説思考のメリット・デメリット、仮説思考の身に着け方 -MECEの考え方、フレームワークの活用の仕方 ・スキルを活用した演習 -支援企業の現状把握とヒアリング項目の設定 -支援企業の問題の整理 ・傾聴・質問のロールプレイング②(演習)	アライビジネススクリード 代表 中小企業診断士・1級販売士・PMC 新井 美砂
	13:30～18:00 (4.5H)	相談内容の体系的な整理に必要なスキルの習得		
6/28 (金)	9:00～12:30 (3.5H)	支援先企業の問題解決の実践	支援担当者実際の事例を持ち寄り、伴走型支援の相談対応の手順に沿って、支援企業の問題・課題解決に取り組みます。また、相談対応スキルについてのフィードバックを行います。 ・事例演習 -傾聴・質問を通して支援企業が抱える現状の把握 -事業者が直面する課題の設定と対応策の検討 -相談対応スキル活用のフィードバック(討議)	
	13:30～16:00 (2.5H)			
	16:00～16:20	終講式		

※カリキュラムは変更する場合があります。

(研修時間数 21.0H)

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回